

2019年4月10日
FCA ジャパン株式会社

「Fiat 500X」を改良して発売 デザイン変更と共にフィアット初採用の新世代エンジンを搭載



- LED ライトの新採用などフロント周りを中心にエクステリアを刷新
- フィアット初採用となる新世代エンジンの搭載によりパワーと燃費を向上
- 仕様・装備が向上したにもかかわらず 300 万円を切るスタート価格を実現



FCAジャパン株式会社（本社：東京都港区、社長：ポンタス・ヘグストロム）は、「Fiat 500X」（フィアット・チンクエチェント エックス）を改良し、2019年5月18日（土）から、全国のフィアット正規ディーラーを通じて発売します。

希望小売価格（消費税込）は500X（受注生産）2,980,000円、500X Cross 3,340,000円です。各モデル共に1.3ℓターボエンジン、6速デュアルクラッチトランスミッション、前輪駆動方式を搭載します。



FIAT CHRYSLER AUTOMOBILES

PRESS RELEASE



「500X」は、2015年10月にフィアット初のスモールSUVとして日本に導入されて以来、500ファミリーの一員として親しみのあるデザインや、前後席に大人がゆったり着座できる居住空間、充実した安全装備により、アクティブなライフスタイルを送るユーザーからファミリー層まで、幅広いお客様からご好評いただいています。そしてデビューから4年目となる今年、500Xは新たなフェーズへ突入します。デザインを刷新し、フィアット初採用となる新世代エンジンを搭載。さらに装備と価格の最適なバランスを追求しました。日本においては、300万円を下回るエントリーモデルである「500X」と、装備を充実させた「500X Cross」の2タイプを導入します。

エンジンは、新世代のオールアルミ製1.3ℓ直列4気筒“FireFly”ターボエンジンを搭載します。燃焼室形状の最適化や、FIAT独自技術であるMultiAirの進化により、最高出力は従来モデル比で11ps増の151ps、最大トルクは20Nm増の270Nmを発生します。さらに燃費は従来の1.4ℓターボエンジンに比べて約10%向上しています（欧州計測参考値）。

エクステリアは、前後バンパーが一新され、SUVらしさを強調するクロススタイルを採用し、親しみやすいデザインの中にも力強さを表現しています。新デザインのヘッドライトのほかドライビングライトやリアコンビネーションランプがLED式へと変更されました（500X Crossのみ）。デイトタイムドライビングライト及びポジショニングライトは上下で分割され、FIAT 500ファミリーのシンボルである「500」のロゴをモチーフにしたデザインが採用されています。

装備については、レザーステアリングホイールや前席シートヒーター、クルーズコントロール、デュアルゾーン式フルオートエアコン、Apple CarPlayおよびAndroid Autoに対応した7インチタッチパネルモニター付のインフォテインメントシステムUconnect®、クラッシュミティゲーション（衝突被害軽減ブレーキ）付の前面衝突警報、車線逸脱警報、リアパーキングカメラなど、日常の運転に不可欠な快適・安全装備を全車標準採用しています。

さらに500X Crossでは充実した装備を採用し、LEDヘッドライトやレザーシート（前席8ウェイパワーシート付）、パドルシフト、アダプティブクルーズコントロール、ブラインドスポットモニター、フロントパーキングセンサーなど、長距離でも快適にドライブを楽しめる機能が充実しています。

車両概要は商品ウェブサイトをご参照ください。

商品サイト：<https://www.fiat-auto.co.jp/500x/>



FIAT CHRYSLER AUTOMOBILES

PRESS RELEASE

以上

お問い合わせ先（報道関係者）
FCA ジャパン株式会社 広報部
TEL: 03-6858-5420（広報部代表）
メディアサイト：<https://www.fcagroup.jp/media/>

